



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社資生堂 上場取引所 東
 コード番号 4911 URL <https://corp.shiseido.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 兼 CEO (氏名) 魚谷 雅彦
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 北川 晴元 (TEL) 03-3572-5111
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト等向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	226,893	△17.1	6,496	△83.3	6,052	△84.7	1,402	△95.8
2019年12月期第1四半期	273,618	3.7	38,934	△17.4	39,515	△16.3	33,509	16.1

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △1,862百万円(-%) 2019年12月期第1四半期 38,430百万円(127.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	3.51	3.51
2019年12月期第1四半期	83.90	83.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,178,465	503,960	40.9
2019年12月期	1,218,795	517,857	40.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 482,557百万円 2019年12月期 496,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

国内外での新型コロナウイルス感染症拡大により、消費者の需要減退や購買行動の変容、企業の経済活動の停滞が起きています。当社業績は、今後も感染症拡大の状況や各国規制による経済活動の再開タイミングなど不確定要素が多く、現時点ではその動向及び影響額について見極めることが非常に困難な状況となっています。

そのため、2020年12月期の通期連結業績予想を一旦取り下げ、第2四半期決算発表時に改めて公表いたします。

また、配当予想についても同様に取り下げ、第2四半期決算発表時に改めて公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	400,000,000株	2019年12月期	400,000,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	543,666株	2019年12月期	564,455株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	399,450,760株	2019年12月期1Q	399,386,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	EBITDA (百万円)
2020年12月期 第1四半期	226,893	6,496	6,052	1,402	24,005
2019年12月期 第1四半期	273,618	38,934	39,515	33,509	52,618
増減率	△17.1%	△83.3%	△84.7%	△95.8%	△54.4%
外貨増減率	△15.8%				
実質増減率	△16.4%				

当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）の景況感は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、グローバル全体で急速に悪化しました。国内化粧品市場は、消費者の外出自粛、小売店の営業時間短縮や臨時休業に加え、訪日外国人旅行者の減少に伴うインバウンド需要の減速も影響し、2月からモメンタムが悪化しました。海外化粧品市場は、感染症拡大に伴い、中国やその他アジア地域は2月から、欧米では3月から急激に減速しました。

資生堂グループは2015年に、100年先も輝き続ける企業となるため中長期戦略 VISION 2020 をスタートさせました。日本発のグローバルビューティーカンパニーとして競争に勝ち抜くため、全ての活動をお客さま起点とし、グローバルでブランド価値向上に取り組んでいます。

当期は、VISION 2020 の最終年度ですが、大変厳しい経営環境が続くとみています。そうした環境下にあっても、持続的成長に向けてグローバルブランドへの投資は継続し、年間の費用をゼロベースで見直しながら、業績回復に向けた対応策の策定及び実行に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、全てのリージョンで新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現地通貨ベースで前年比 15.8%減、米国会計基準 ASC 第 606 号適用影響及び米国スキンケアブランド「Drunk Elephant」買収影響等を除く実質ベースでは前年比 16.4%減となりました。円換算後では、前年比 17.1%減の 2,269 億円となりました。

営業利益は、市場環境の急速な悪化を受けコスト削減の取り組みを迅速に開始したものの、売上減に伴う差益減やプロダクトミックスの悪化などにより、前年比 83.3%減の 65 億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業減益に加え、税金費用において税効果でマイナス影響が生じたことなどから、前年比 95.8%減の 14 億円となりました。

なお、EBITDA ベースでは 10.6%のマージンとなりました。

当第1四半期連結累計期間における財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替換算レートは、1米ドル＝108.9円、1ユーロ＝120.1円、1中国元＝15.6円です。

【連結】

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期	構成比	前第1四半期	構成比	増 減	増減率	外貨 増減率	セグメント間の内部売上高 又は振替高を含めた売上高		
								当第1四半期	前第1四半期	
売 上 高	日本事業	85,673	37.8%	108,698	39.8%	△23,024	△21.2%	△21.2%	92,744	113,686
	中国事業	44,514	19.6%	52,507	19.2%	△7,992	△15.2%	△12.0%	44,622	52,600
	アジアパシフィック事業	15,083	6.6%	18,934	6.9%	△3,851	△20.3%	△19.2%	15,670	19,590
	米州事業	23,292	10.3%	27,692	10.1%	△4,399	△15.9%	△14.6%	30,236	37,348
	欧州事業	20,439	9.0%	25,030	9.1%	△4,590	△18.3%	△14.9%	23,152	27,328
	トラベルリテール事業	27,795	12.2%	28,671	10.5%	△876	△3.1%	△1.6%	27,852	28,734
	プロフェッショナル事業	2,877	1.3%	3,539	1.3%	△661	△18.7%	△17.2%	3,048	3,695
	その他	7,216	3.2%	8,544	3.1%	△1,327	△15.5%	△15.5%	45,176	44,458
	小 計	226,893	100.0%	273,618	100.0%	△46,725	△17.1%	△15.8%	282,503	327,443
調整額	—	—	—	—	—	—	—	△55,609	△53,824	
合 計	226,893	100.0%	273,618	100.0%	△46,725	△17.1%	△15.8%	226,893	273,618	

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増 減	増減率	
営 業 利 益 又 は 損 失	日本事業	8,070	8.7%	22,644	19.9%	△14,573	△64.4%
	中国事業	5,282	11.8%	12,979	24.7%	△7,696	△59.3%
	アジアパシフィック事業	1,064	6.8%	2,365	12.1%	△1,300	△55.0%
	米州事業	△8,877	△29.4%	△4,509	△12.1%	△4,368	—
	欧州事業	△6,463	△27.9%	△1,824	△6.7%	△4,638	—
	トラベルリテール事業	4,974	17.9%	7,501	26.1%	△2,527	△33.7%
	プロフェッショナル事業	60	2.0%	56	1.5%	3	6.3%
	その他	4,240	9.4%	1,371	3.1%	2,869	209.2%
	小 計	8,351	3.0%	40,584	12.4%	△32,233	△79.4%
調整額	△1,854	—	△1,649	—	△205	—	
合 計	6,496	2.9%	38,934	14.2%	△32,438	△83.3%	

- (注) 1 当社グループの米国会計基準適用子会社は、前連結会計年度の連結財務諸表から ASC 第 606 号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。本基準を適用する対象子会社は、米国において非公開企業であり、本基準の適用にあたっては米国基準で定められている前連結会計年度末の連結財務諸表からの適用としています。従って、前第1四半期連結損益計算書では、同基準を適用しておりません。
- 2 当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「日本事業」に計上していた(株)ザ・ギンザにおける日本国内の空港免税事業等の業績は「トラベルリテール事業」へ計上し、同子会社のブランド「THE GINZA」のブランドホルダー機能に係る業績は「その他」に計上しています。また、従来「米州事業」に計上していた日本国内で事業運営するベアエッセンシャル(株)の業績と Technology Acceleration Hub の業績等は「その他」へ計上しています。また、資生堂ジャパン(株)から(株)資生堂への「エリクシール」及び「アネッサ」ブランドのブランドホルダー機能の移管に伴い、従来「日本事業」に計上していた両ブランドのブランドホルダー機能に係る業績は「その他」へ計上しています。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。
- 3 「その他」は、本社機能部門、(株)イプサ、資生堂美容室(株)、生産事業、フロンティアサイエンス事業及び飲食業などを含んでいます。
- 4 営業利益又は損失における売上比は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高に対する比率です。
- 5 営業利益又は損失の調整額は、主にセグメント間の取引消去の金額です。

各報告セグメントの概況は次のとおりです。

【日本事業】

日本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛に伴う消費マインドの低下、小売店の営業時間短縮や臨時休業等の影響を受け、プレステージブランドやコスメティクスブランドを中心に減収となりました。加えて、訪日外国人旅行者の大幅な減少に伴い、インバウンド需要も急激に減速しました。

以上のことから、売上高は前年比 21.2%減の 857 億円となりました。前期の「フェルゼア」、「エンクロン」のブランド譲渡影響等を除いた実質ベースでは前年比 21.0%減となりました。営業利益は、売上減に伴う差益減やプロダクトミックスの悪化などにより、前年比 64.4%減の 81 億円となりました。

【中国事業】

中国事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、1月後半から大きな影響を受けました。一時は約7割の小売店が閉鎖していましたが、3月後半には9割以上の小売店が営業を再開するなど、中国本土では回復の兆しが見られました。また、投資を強化しているEコマースは、プレステージブランドを中心に成長しました。

以上のことから、売上高は現地通貨ベースで前年比 12.0%減、円換算後では前年比 15.2%減の 445 億円となりました。営業利益は、売上減に伴う差益減、プロダクトミックスの悪化に加え、計画に対しては抑制しているもののマーケティング投資の増加などにより、前年比 59.3%減の 53 億円となりました。

【アジアパシフィック事業】

アジアパシフィック事業では、不透明な経済環境の中で、ブランドの展開拡大やEコマースの強化に取り組みましたが、東南アジア地域を中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けました。一方、台湾は影響が比較的小さく、3月には回復の兆しが見られました。

以上のことから、売上高は現地通貨ベースで前年比 19.2%減、円換算後では前年比 20.3%減の 151 億円となりました。営業利益は、売上減に伴う差益減などにより、前年比 55.0%減の 11 億円となりました。

【米州事業】

米州事業では、3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大による都市封鎖や外出制限等の影響を受けました。一方、厳しい市場環境の中でもEコマースが引き続き伸長している「Drunk Elephant」は堅調に推移しました。

以上のことから、売上高は現地通貨ベースで前年比 14.6%減、円換算後では前年比 15.9%減の 233 億円となりました。米国会計基準ASC第606号適用影響及び「Drunk Elephant」買収影響等を除く実質ベースでは、前年比 21.7%減となりました。営業損失は、売上減に伴う差益減に加え、買収に伴うのれん償却費等の費用増などにより、前年に対し44億円増の89億円となりました。

【欧州事業】

欧州事業は、1月は「Dolce&Gabbana」の新製品効果等もあり、市場を上回る成長を続けていましたが、3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大による都市封鎖や外出制限等の影響を受け、イギリス、スペイン、イタリアなどで大きく減速しました。

以上のことから、売上高は現地通貨ベースで前年比 14.9%減、円換算後では前年比 18.3%減の 204 億円となりました。営業損失は、売上減に伴う差益減に加え、新製品発売に伴うマーケティング投資の増加などにより、前年に対し46億円増の65億円となりました。

【トラベルリテール事業】

トラベルリテール事業（空港免税店等での化粧品・フレグランスの販売）は、アジアを中心とした国際線の減便に伴うグローバルでの中国人旅行者の大幅減少等の影響を受け、特に日本やアジア地域では、2月以降お客さま購買が大きく減少しました。多くのブランドが減収となった一方、前年同期は一部商品の品切れ等により出荷水準が低調だった「クレ・ド・ポー ボーテ」や「NARS」などが伸長しました。

以上のことから、売上高は現地通貨ベースで前年比1.6%減、円換算後では前年比3.1%減の278億円となりました。営業利益は、売上減に伴う差益減やプロダクトミックスの悪化などにより、前年比33.7%減の50億円となりました。

【プロフェッショナル事業】

プロフェッショナル事業は、ヘアサロン向けのヘアケア、スタイリング剤、ヘアカラー剤やパーマ剤などの技術商材を日本、中国、アジアパシフィックで販売しています。当期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛やヘアサロンの休業等の影響を受け、売上高は現地通貨ベースで前年比17.2%減、円換算後では前年比18.7%減の29億円となりました。営業利益は、売上減に伴う差益減があった一方、マーケティング投資の減少などにより、前年比6.3%増の0.6億円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外での新型コロナウイルス感染症拡大により、消費者の需要減退や購買行動の変容、企業の経済活動の停滞が起きています。当社業績は、今後も感染症拡大の状況や各国規制による経済活動の再開タイミングなど不確定要素が多く、現時点ではその動向及び影響額について見極めることが非常に困難な状況となっています。

そのため、2020年12月期の通期連結業績予想を一旦取り下げ、第2四半期決算発表時に改めて公表いたします。

また、配当予想についても同様に取り下げ、第2四半期決算発表時に改めて公表いたします。

2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,220,000	百万円 117,000	百万円 117,000	百万円 77,500	円 銭 194.02
今回修正予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	1,131,547	113,831	108,739	73,562	184.18

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,342	99,302
受取手形及び売掛金	172,905	152,319
たな卸資産	181,104	191,198
その他	71,012	64,419
貸倒引当金	△2,741	△3,075
流動資産合計	532,623	504,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	223,611	220,909
減価償却累計額	△101,735	△99,946
建物及び構築物（純額）	121,875	120,963
機械装置及び運搬具	104,566	105,995
減価償却累計額	△60,284	△61,021
機械装置及び運搬具（純額）	44,281	44,974
工具、器具及び備品	94,939	95,153
減価償却累計額	△53,840	△55,105
工具、器具及び備品（純額）	41,099	40,047
土地	45,040	44,817
リース資産	9,643	10,058
減価償却累計額	△4,394	△4,248
リース資産（純額）	5,248	5,810
使用権資産	26,395	26,445
減価償却累計額	△6,702	△8,448
使用権資産（純額）	19,693	17,997
建設仮勘定	37,518	36,639
有形固定資産合計	314,757	311,249
無形固定資産		
のれん	64,499	62,823
リース資産	536	492
商標権	135,209	135,660
その他	48,963	49,116
無形固定資産合計	249,209	248,092
投資その他の資産		
投資有価証券	13,915	14,112
長期前払費用	16,690	15,597
繰延税金資産	55,313	49,045
その他	36,317	36,238
貸倒引当金	△31	△34
投資その他の資産合計	122,205	114,958
固定資産合計	686,172	674,300
資産合計	1,218,795	1,178,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,336	27,074
電子記録債務	65,601	53,872
短期借入金	120,496	97,499
1年内返済予定の長期借入金	730	10,730
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
リース債務	8,722	8,103
未払金	89,124	61,706
未払法人税等	11,951	9,552
返品調整引当金	5,333	4,384
返金負債	9,899	9,198
賞与引当金	25,132	18,580
役員賞与引当金	101	15
危険費用引当金	341	360
事業撤退損失引当金	117	116
その他	80,383	63,839
流動負債合計	464,273	380,033
固定負債		
社債	15,000	35,000
長期借入金	70,791	110,823
リース債務	17,368	15,969
長期末払金	49,153	49,530
退職給付に係る負債	69,804	68,586
債務保証損失引当金	350	350
繰延税金負債	2,712	2,693
その他	11,485	11,517
固定負債合計	236,665	294,470
負債合計	700,938	674,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,506	64,506
資本剰余金	70,741	70,741
利益剰余金	371,435	360,856
自己株式	△2,591	△2,497
株主資本合計	504,092	493,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,106	3,161
為替換算調整勘定	10,839	6,657
退職給付に係る調整累計額	△21,600	△20,869
その他の包括利益累計額合計	△7,654	△11,050
新株予約権	1,263	1,284
非支配株主持分	20,156	20,118
純資産合計	517,857	503,960
負債純資産合計	1,218,795	1,178,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	273,618	226,893
売上原価	56,584	49,794
売上総利益	217,034	177,098
販売費及び一般管理費	178,100	170,602
営業利益	38,934	6,496
営業外収益		
受取利息	276	248
受取配当金	8	2
持分法による投資利益	61	61
受取家賃	154	156
補助金収入	1,032	2,372
その他	329	269
営業外収益合計	1,862	3,111
営業外費用		
支払利息	239	709
為替差損	511	1,988
その他負債の利息	324	300
その他	205	556
営業外費用合計	1,281	3,554
経常利益	39,515	6,052
特別利益		
固定資産売却益	6	486
投資有価証券売却益	-	5
特別利益合計	6	492
特別損失		
固定資産処分損	288	919
投資有価証券売却損	29	-
関係会社整理損	466	-
特別損失合計	784	919
税金等調整前四半期純利益	38,737	5,625
法人税、住民税及び事業税	10,588	△1,815
過年度法人税等	3,607	-
法人税等調整額	△10,455	5,439
法人税等合計	3,740	3,623
四半期純利益	34,997	2,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,487	599
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,509	1,402

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	34,997	2,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	653	9
為替換算調整勘定	1,492	△4,609
退職給付に係る調整額	1,279	730
持分法適用会社に対する持分相当額	8	4
その他の包括利益合計	3,433	△3,864
四半期包括利益	38,430	△1,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,712	△1,993
非支配株主に係る四半期包括利益	1,717	131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。